

WNI気象文化創造センターの助成・表彰事業について

地球温暖化の進行とともに、気象を実用的に利用することの重要性はますます増えています。とくにアジア・太平洋地域では、今後の発展が期待される国・地域が多く存在すると同時に、気象による大きな被害が多いのも事実です。こうした中、減災、経済的利用、環境問題への対応における気象の実用や実践に関して、従来の発想にとらわれない知恵を、個人、企業、団体を問わず幅広く結集し、広げていくことが重要だと考えています。気象文化創造センターでは、こうした気象に関わる実用、実践研究に成果をあげている人々を公平な立場から表彰し、また助成する事業を展開していきます。

「気象文化大賞」

気象文化を広めるには、草の根で実践されている気象活動に関して、従来の発想にとらわれない知恵を、個人、企業、団体を問わず幅広く結集し、広げていく必要があります。そこで気象の減災・自助・共助、経済的利用、環境問題などへの対応における実用的な気象研究・活動について、新たなる研究・活動を行おうと計画している、または、これまで革新的な成果をあげた、「個人」および「団体」のこれからの発展を願い「気象文化大賞」として表彰し、研究・活動について助成いたします。

「気象文化功労賞」

長い間にわたって気象の実用・実践的な研究・活動を、地道に、堅実に進めてきた「個人」および「団体」に、さらなる努力を願って「気象文化功労賞」として表彰し、次年度の研究・活動について助成いたします。

「石橋夢大賞」

気象の実用・実践的な研究に関する「夢」「将来への希望」「斬新なビジネスアイデア」「こんな実践ができればワンダフル」などの意見、提言を「石橋夢大賞」として公募し、「個人」を表彰いたします。

「佐々木嘉和賞」

気象文化大賞に応募されて候補になった研究・活動の中から、起業家精神にあふれ、グローバルな視点からアジア・太平洋、そして地球全体の気象の実用・実践的な研究・活動に寄与できると認められたものについて「佐々木嘉和賞」として「個人」ないし「団体」を表彰いたします。(気象文化大賞、気象文化功労賞と重複することもあります)

WNI気象文化創造センター「気象文化大賞」募集要項

■ 選定方法

WNI財団事務局にて公募を行います。
その候補の中から選考委員会で選定し、決定します。

■ 研究助成に関する選考基準

1. オリジナリティがあること
テーマの設定、実践プロセス、分析の視点などに他にはない独創性がみられ、今後の展開が期待されること。
2. 実用・実践的であること
これまで十分な実績があり、実施計画では具体的な運用プロセスが検討されていて、その実現性、および研究・活動の成果について期待がもてること。
3. 広く市民生活に役立つこと
助成が研究テーマに関する活動の実現に効果的に作用し、気象の実用・実践的な研究・活動をしている他の「個人」および「団体」への波及効果が期待できること。
4. 広い意味での気象に関わっていること
狭義の「気象」だけではなく、気候変動、地球環境全体と関わるテーマについて研究・活動したものの。
5. アジア・太平洋への波及効果が期待できること
日本国内での気象の実用・実践についての研究・活動であっても、広くアジア・太平洋への波及効果が期待できること。

■ 助成対象とならないもの

- 直接の営利活動を目的とするもの
- 集会の開催、海外出張、機械の購入のみを目的としたもの
- 単なる趣味、個人的満足を訴求すると判断されるもの

■ 研究・活動成果の著作権・公表について

当財団の助成で書かれた論文などの著作権は、応募した「個人」ないし「団体」に帰属します。ただし、当財団の諸活動の中で、応募内容・成果等については広く活用可能な形で公表いたしますので、ご了承ください。

■ 今回の助成対象者

- 団体については、原則として設立2年以上を経過しており活動実績のあること
- 研究・活動基盤が日本国内にもあり、日本語で応募することがのぞましい

■ 助成金額

気象文化大賞 (50万円～100万円まで)

気象文化功労賞 (助成金額は応募内容を元に選考委員会にて協議の上、決定します)

石橋夢大賞 (記念品を贈呈しますが助成金はありません。記念品価格の上限は10万円とします)

佐々木嘉和賞 (記念品を贈呈しますが助成金はありません。記念品価格の上限は10万円とします)

※ 助成金の半額は、申請した助成期間の開始月に、残りの半額は、終了報告書の提出後、1ヶ月以内に支払うものとします。(詳細は助成規程に定めます)。

■ 助成対象期間

2018年6月1日 から 2019年5月30日 まで

※これを基本対象期間としますが、事案により都度相談し決定することも可能とします。

ただし、いずれも、期間は1年間とします。

■ 助成先の審査・決定・発表

選考委員会で選考を行い、助成対象となったものについて、各申請者には書面で結果を通知いたします。

■ 応募方法

申込書に必要事項を記入・押印の上、添付書類とともに当財団へご送付ください。ご提出いただいた書類等は返却できませんので、予めご了承ください。

■ 応募締切

2018年4月27日(金) 必着

■ 助成申請先および各種資料提出先

〒261-0023 千葉県千葉市美浜区1-3 幕張テクノガーデン
一般財団法人 WNI気象文化創造センター 「気象文化大賞」係

■ お問い合わせ

一般財団法人 WNI気象文化創造センター 「気象文化大賞」事務局
e-mail info@wxbunka.com
TEL 043-274-3191

■ 表彰・助成の選考委員（予定）

選考委員長

東京大学大学院 工学研究科 航空宇宙工学専攻教授 中須賀真一さん

選考委員

千葉大学名誉教授(第43次南極観測隊隊長) 西尾文彦さん

選考委員

元WMO(世界気象機関) 戸矢時義さん

選考委員

空の探検家 第50次南極地域観測隊 元高校教諭 武田康男さん

※上記4名を含め計6名を定員とし追加で就任することもあります。

■ 助成金の活用について

- 当財団と覚書を交わし、それに基づいて研究・活動を実施してください。
- 必要に応じて、実施状況確認のために、現地視察を行う場合がありますので、ご協力ください。
- 助成期間終了後、3ヶ月以内に「研究・活動完了届」「研究・活動成果報告書」「会計報告書」を提出していただきます。必要書類が提出されない場合、助成金を返還していただく場合があります。
- 「研究・活動成果報告書」が当初のテーマや目的から逸脱している場合、助成金を返還していただく場合があります。

■ 個人情報取扱いについて

- 応募申請書ならびに研究資料の個人情報は原則として、「研究・調査報告集」への記載ならびに当財団の業務遂行上必要な範囲の利用に限定いたします。
- 法令等に定める場合を除き、事前に本人の同意を得ることなく、個人情報を第三者に提供することはありません。

WNI気象文化創造センター「石橋夢大賞」募集要項

あなたの夢は、なんですか。 私たちの夢は、地球に住んでいるすべての人が、自分で空を見上げて、天気予報ができるようになることです。誰もが同じ空の下、青空を楽しみ、風を楽しみ、夕暮れを楽しみ、星を楽しみ、ときに雨音を楽しみながら「空のきもち」を感じとること。みんなが気象情報も参考にしながら「あ、これなら晴れそう」「これから雨かも」などと、自分で天気予報をすることです。気象文化とは、みんなが空を楽しみ、空のきもちを思っ生活を楽しむことなんです。

そこで、気象に関わるあなたの夢、希望を募集します。 気象に関する「夢」「将来への希望」「斬新なアイデア」「こんなコトができればワンダフル」など、あなたの気持ちを表現して送ってください。地に足がついた提案も、奇想天外な提案も、それが未来の子どもたちへの夢や希望につながるなら、大歓迎。すてきな夢、送ってください。

■ 応募資格

子どもから大人まで、特に資格はありません。

■ 審査・発表

本賞への応募、及び、気象文化大賞へ応募のあったものを対象に、2016年5月に候補を選び、決定し、当財団ホームページで告知します。

■ 応募方法・サイズ

「A4」の紙を使って2枚以内。あなたが描いたオリジナルの絵や写真を使っても良いですし、言葉で表現してもかまいません。郵送で、受け付けます。

■ 応募締切

2018年4月27日（金）必着

■ 送付先住所

〒261-0023 千葉県千葉市美浜区1-3 幕張テクノガーデン
一般財団法人 WNI気象文化創造センター 「石橋夢大賞」係

■ 応募作品の著作権

絵や写真、文章の著作権は応募されたご本人に帰属します。他者の著作権や肖像権を配慮し、ご自分のオリジナルとして表現してください。ただし「石橋夢大賞」の候補作(数点)および受賞作品は、氏名などの個人情報とともに新聞、雑誌、書籍、インターネットなどで公表いたしますので、ご了承ください。